

# 鹿児島大学修学支援室

## (障害学生支援センター) センターニュース

〒890-0065 鹿児島市郡元 1-21-30 共通教育棟 1 号館 2F 修学支援室(障害学生支援センター)

TEL&FAX 099-285-3287

E-mail: [learning-support@km.kagoshima-u.ac.jp](mailto:learning-support@km.kagoshima-u.ac.jp)

URL: <https://www.kagoshima-u.ac.jp/syogaku>

## 令和 4 年度の修学支援室(障害学生支援センター)の歩み

障害学生支援センター長 前田雅人

令和 5 年 5 月 8 日から新型コロナウイルス感染症の感染症法(感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律)上の位置付けが「2 類相当」から季節性インフルエンザなどと同じ「5 類」に移りました。ここ 3 年間の様々な制約が解除されていくとともに、心も軽くなっていくように思いますが、新型コロナウイルス感染症がなくなったわけではないので、これまで通り行動は慎重であることが望めます。

さて障害学生支援センターは平成 26 年 4 月に設置され、今年で丸 9 年たちました。当初から全学体制で臨むため障害学生支援委員選出を各部局に依頼し、ご協力願い、また障害学生支援センターのスタッフの皆さん、学生生活課の皆さん、保健管理センターの皆さんには相当にご助力いただきました。いつも感謝しております。このセンターニュースにも詳細なデータを報告していますが、令和 4 年度の障害学生支援センターにおける支援件数は延べ 3478 件と令和 3 年度よりも 1005 件増え(41%増)、面談件数も延べ 608 件と 295 件増え(94%増)、センターが学生さんや教職員にとって相談しやすい施設になってきていると強く感じています。また共通教育棟 2 階の施設だけでは狭いため、令和 3 年度に分室を設置しました。さらに分室には、多くの利用者の修学支援の場としてのみならず、オンライン授業や Web 面接などの際に、周囲から遮音された環境下で、周りの目を気にすることなく、安心して修学や就職活動に専念

できるように個室ボックスを分室に用意しました。その結果、分室の利用件数は延べ 750 件と令和 3 年度に比べ 355 件増え、約 1.9 倍の利用増加がみられ、また個室ボックスの利用件数は延べ 232 件、内訳は障害学生支援センター登録学生が 199 件、登録外の学生による企業ガイダンスや採用面接等利用が 33 件と一般の学生さんにも利用いただけ、好評でした。

ところで令和 5 年 3 月 10 日は、九州大学大学院人間環境学府教授の田中真理先生に「鹿児島大学ダイバーシティキックオフセミナー」として「インクルーシブキャンパスに向けて: 障害学生への合理的配慮を中心に」のテーマで御講演いただきました。その中で多様性からみえてくる 4 つのバリア、「物理的バリア」「制度のバリア」「情報のバリア」「心のバリア」の話があり、気づきによってそのバリアをなくすように努めることが、障害を抱えた学生にとって、よりよいキャンパスライフへの実現となりうることを学びました。令和 4 年度の様々な経験を糧として、令和 5 年度はさらに学生に適切な支援ができるため尽力していきたいと思っておりますので、修学支援室(障害学生支援センター)をよろしくお願い申し上げます。

## 修学支援室分室(学習室)のご案内 学習交流プラザ 2 階に移動しました！！

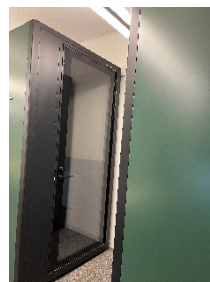


修学支援室では、遠隔授業等を受講する学生のために、学習室を設けています。スタッフの常駐する静穏な環境で一定の距離を保って受講できます。また、語学やペア・グループワーク授業にも対応できるよう、高い遮音性のある学習個別ボックスを設けています。就活等にもご活用いただけます。

### \* 利用学生の感想

「売店が近くにあるので、便利」  
「部屋全体が明るくていい感じ」  
「静かで集中できてよい」

PC/タブレット、卓上ライト等も貸出できます。ご利用を希望される方は修学支援室までご連絡ください。



修学支援室(学習室)

利用時間

平日 8:45~17:50

\* 学習室はスペースがあれば、センターに登録のない学生も使用いただけます。必要時には修学支援室までご連絡ください。

\* 個別ボックス利用希望の際は、事前に予約をお願いします。

# ユニバーサルデザインフォント(UD フォント)に関する研修会を開催しました。

講師: 株式会社モリサワ 営業企画部  
プロアクティブセールス課  
仁田野 良介 氏

## 【参加者アンケート】

よく分かった	78%
分かった	22%
分からなかった	0%
その他	0%

## 「UD フォントセミナー ～基本から活用まで～」

株式会社モリサワと契約をしてUD フォント 55 書体を使用できる、ライセンスを取得しています。鹿児島大学の教職員の方は申請により使用が可能です。お気軽に修学支援室までお問合せください。

## 【参加者の感想】

身近にとってもたくさん使われていることに驚きました。普段利用させていただいておりますが、大変見やすく分かりやすく大満足です。今回のセミナーのお話も大変分かりやすく大満足でした。

## 【株式会社モリサワ様より感想へのコメント】

アンケートへのご回答ありがとうございます。また、セミナーのご感想もありがとうございます。セミナーのスライドにはUD フォントを使用しており、できるだけ文字での解説が少なくなるように心がけております。コロナ禍で対面での説明からオンラインで説明に変わり、より分かりやすく伝えることができるようになってきたと思います。そのため、「伝える」から「伝わる」に考えをシフトして、相手の方がどのように見えるかにも視点をおいて、スライドを作るように心がけています。(まだまだ不十分ですが・・・) SDGs として、見える読めるは、質の高い教育にもつながります。さらには今回のコロナに起因した急激な環境の変化に伴い、学生の方々の見え方に対し発信者は注意しなければならないと思います。具体的にはオンラインの授業を、スマホの画面で見る、ノートブックの画面で見る、大型のモニタで見るなどさまざまだと思います。そこで、少しでも、文字がはっきりと見えるように配慮してあげることもSDGs に繋がると感じています。ぜひ、引き続きUD フォントをご利用いただだけますようお願い申し上げます。

## UD フォント Q&A

Q.『特に普段使っているPCのフォントと変わらないように見える』

A.「見ることへの困難がない人には違いは判らなくて当然かもしれません。見ることの困難がある方がより判別しやすいように開発された文字です。いるかもしれない『見えづらい人』への配慮してみませんか?」

Q.「PCにすでにUDフォントが入っていますが、違いは何ですか?」

A.「Windows10以降すでに入っているUDフォントは5書体です。ライセンスにて使用できるフォントは55書体(日本語フォント32種、専用欧文・記号フォント11種、筆順フォント12種)となっています。文字の組み合わせによって強調したり、印象をやわらかくしたりすることもできます。例えば、C60とC80では文字間隔がそれぞれ6割と8割に狭くプログラムされていますが、文字のひずみが少なく識別しやすい文字となっています。」

## 【株式会社モリサワ様より】

「2017年秋にはじめてUD デジタル教科書体がWindowsに標準搭載され、翌年にUD 明朝、UD ゴシックが搭載されました。特にUD デジタル教科書体は教育に特化したフォントとして教育の現場の方々からのご意見のほか、たくさんのご要望をいただきました。専用欧文フォントについては読み書きにつまずきのある生徒を教えられている先生からの強いご要望もあり、新たに作成して、UD フォントプランに追加することとなりました。現在ご契約をいただいておりますUD フォントプランには、それ以外にも多くのUD フォントを収録して提供しております。ぜひ、さまざまなUD フォントをご利用いただけますと嬉しいです。」

## ダイバーシティ キックオフセミナー

鹿児島大学におけるダイバーシティ推進、制度の構築、意識醸成及び環境整備に向けて、主催障害学生支援センター、共催鹿児島大学保健管理センター、総合教育機構グローバルセンター、男女共同参画推進センターでキックオフセミナーを開催しました。

### 「インクルーシブキャンパスに向けて： 障害学生への合理的配慮を中心に」

2023年3月10日(金)

講師:田中 真理 氏

九州大学基幹教育院(兼)大学院人間環境学府共生システム専攻  
キャンパスライフ健康支援センターインクルージョン支援推進室室長

インクルーシブキャンパスに向けた九州大学での取り組み、法的動向等を障害学生への合理的配慮を中心に講演いただきました。

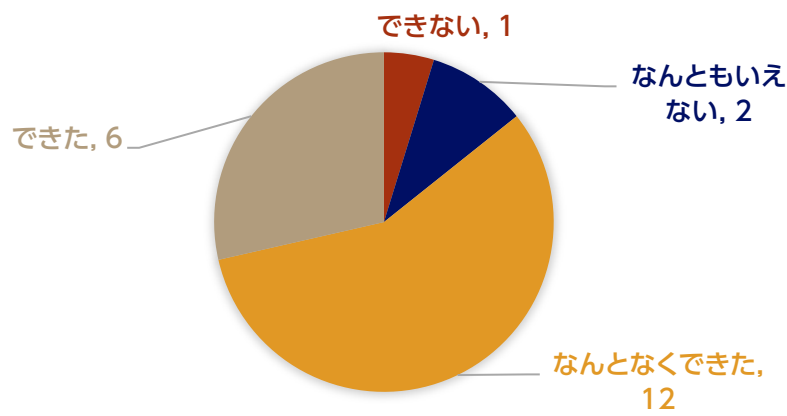
九州大学では、「九州大学ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン推進宣言」をしており、「人材の多様性を保障する(ダイバーシティ)だけでなく、その多様な人々が対等に関わり合いながら一体感を持って協働し(インクルージョン)、個々のニーズにあわせた機会やリソースへの公平なアクセスを保障する(エクイティ)ことで、誰もが誇り持ち、自分の可能性に挑戦できるようなキャンパス作りを推進する」するための様々な取り組みを紹介いただきました。

#### 【感想】

\*合理的配慮とは、マイナスを0にするもので、プラスにするものではないということが、合理的配慮をお願いする立場として参考になりました。また、つい無意識に使う言葉について、もっと言葉に敏感にならなくてはいけないと反省しました。どんなに合理的配慮をしますよと伝えても、当事者からすれば心細いもの。一人ではない、一緒に考えてくれる人がいるということを知ることが大事かなと思いました。本日は、たくさんのきづきがありました。ありがとうございました。(教員)

\*大変勉強になりました。鹿児島大学のホームページにも今回のような研修の知らせが欲しいなと思いました。(学生)

鹿児島大学におけるダイバーシティについて  
イメージできましたか?



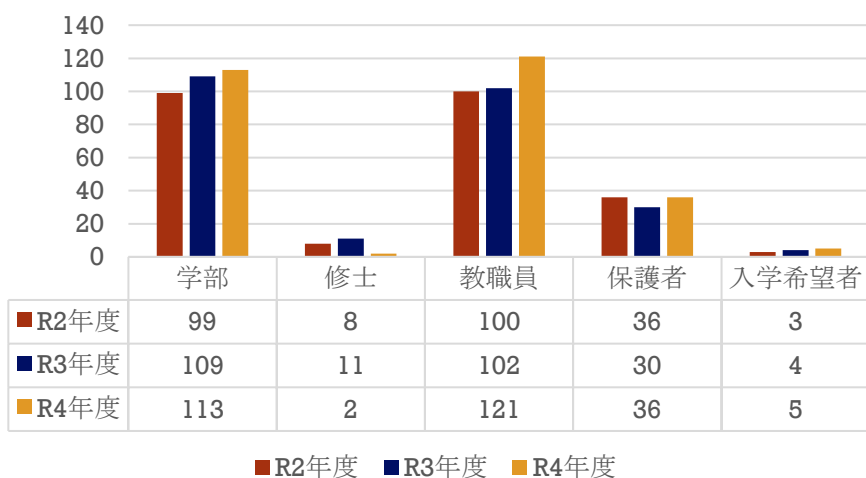
# R4 年度活動報告

## 1. センター全体の来談者数・相談件数

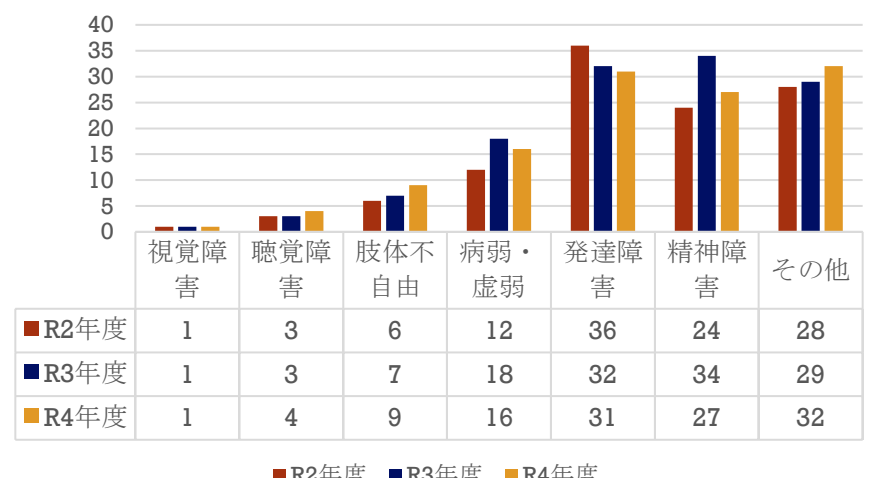
R4年度の来談者数は、合計277名でした。学部生、教職員、保護者の来室が増えています。合計の来談者は毎年増加しており、R4年度は学部生及び教職員の来談者数が増えています。

R4年度の来談者学生を障害種別(JASSOの区分に準じる)にみると、その他が最も多く次いで発達障害、精神障害となっています。この3つのグループが全体の75%にあたります。

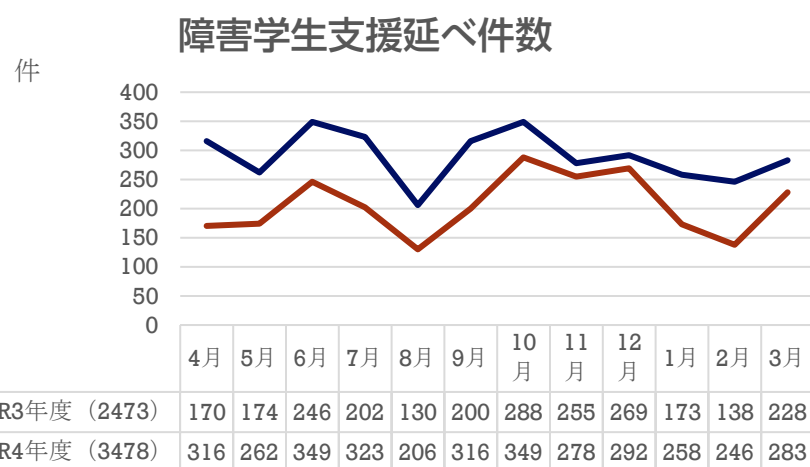
来談者数



来談学生における障害種別人数



## 2. 修学支援室活動件数



R4 年度支援実数

	人数
学部	107
修士	1
入学希望者	5
計	113

R4年度障害学生支援に関する連携実数

	人数
教職員	111
保護者	24
計	135

令和4年度の支援件数は、学部及び修士学生と入学希望学生の113名に対し、3478件であった。令和3年度の1.4倍となっている。学生の支援の詳細は下記に記すが、修学に関する支援、学生生活に関する支援と非常に多岐にわたっている。

## 3. 支援内容詳細

### ① 修学に関する支援

No.	修学に関する支援内容	前期	後期	計
1	点訳・墨訳	0	0	0
2	教材のテキストデータ化	0	0	0
3	教材の拡大	0	0	0
4	ガイドヘルプ	0	0	0
5	リーディングサービス	0	0	0
6	手話通訳 (触手話を含む)	0	0	0
7	ノートテイク	0	0	0
8	パソコンテイク	0	0	0
9	ビデオ教材字幕付け・文字起こし	0	0	0
10	チューター又はティーチング・アシスタントの活用	0	0	0
11	試験時間延長・別室受験	1	0	1
12	解答方法配慮	0	0	0
13	パソコンの持込使用許可	0	0	0
14	注意事項等文書伝達	0	0	0
15	使用教室配慮	0	0	0
16	実技・実習配慮	0	0	0
17	教室内座席配慮	0	1	1
18	FM補聴器/マイク使用	0	0	0
19	専用机・イス・スペース確保	0	0	0
20	読み上げソフト・音声認識ソフト使用	0	0	0
21	講義に関する配慮 (録音許可、板書撮影許可等)	1	0	1
22	配慮依頼文書の送付	35	30	65
23	出席に関する配慮 (遅刻、欠席、途中退室等)	0	0	0
24	学習指導 (補習、補講、レポート作成、定期試験学習等)	13	10	23
25	授業内容の代替、提出期限延長等	0	0	0
26	履修支援 (履修登録補助、優先的な登録等)	19	10	29
27	学外実習・フィールドワーク配慮	0	0	0
28	その他 (No.29~No.45 独自の授業支援)	1039	770	1809
29	教室・試験教室の確認	9	0	9
30	支援機器の使用説明・貸し出し	24	20	44
31	提出物の確認	42	5	47
32	休学に関する確認・連絡等	1	5	6
33	成績に関する確認・連絡等	12	22	34
34	時間割に関する確認・連絡等	39	21	60
35	授業出席への声かけ・同行	20	19	39

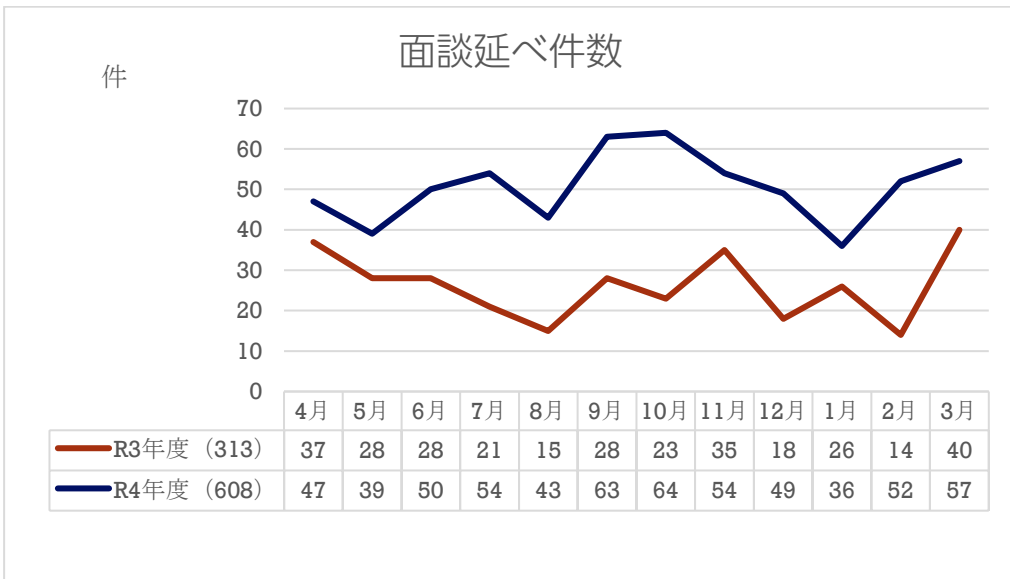
36	オンライン授業支援	457	368	825
37	保護者との連絡(メール・TEL)	16	5	21
38	担当教職員との連絡(メール・TEL)	112	77	189
39	近況確認連絡(メール・TEL)	132	74	206
40	メール相談(学生・教職員・保護者)	19	7	26
41	TEL相談(学生・教職員・保護者)	26	13	39
42	保健管理センターとの連携	0	0	0
43	支援申請書に係るモニタリングと調整等	25	16	41
44	面談調整	85	87	172
45	引継	20	31	51
小計		1108	821	1929

## ②生活に関する支援

No.	生活に関する支援内容	前期	後期	計	
1	学生生活支援	居場所の確保(占有スペース、仲間づくり等)	9	3	12
2		通学支援(自動車通学許可、専用駐車場等)	2	0	2
3		個別支援情報の収集(出身校との連携等)	2	0	2
4		情報取得支援(行事案内、休講情報等)	18	35	53
5	社会的 スキル指導	自己管理指導(スケジュール管理等)	5	40	45
6		対人関係配慮(対人スキル、トラブル対応等)	1	3	4
7		日常生活支援(食事、入浴、睡眠等)	4	1	5
8	保健管理・ 生活管理	専門家によるカウンセリング	0	0	0
9		医療機関との連携	0	1	1
10		医療機器、薬剤の保管等	1	3	4
11		休憩室、治療室の確保等	36	56	92
12		生活介助(体位変換、食事、トイレ等)	0	0	0
13		介助者の入構、入室許可	0	0	0
14	進路・就職 指導	キャリア教育(障害理解、職業適性の把握等)	1	2	3
15		障害学生向け求人情報の提供	0	0	0
16		就職支援情報の提供、支援機関の紹介	0	0	0
17		インターンシップ先の開拓	0	0	0
18	就職先の開拓、就職活動支援	0	3	3	
19	その他(No.20~No.33 独自の生活支援)	585	738	1323	
20	起床のTEL・声かけ	29	43	72	
21	障害者職業センターの連携	0	0	0	
22	アルバイト学生との連絡	32	9	41	
23	印刷・スキャン	58	130	188	
24	卒後フォロー	306	348	654	
25	保護者との連絡(メール・TEL)	7	18	25	
26	担当教職員との連絡(メール・TEL)	18	18	36	
27	近況確認連絡(メール・TEL)	96	125	221	
28	メール相談(学生・教職員・保護者)	6	8	14	
29	TEL相談(学生・教職員・保護者)	13	12	25	
30	保健管理センターとの連携	5	1	6	
31	病院やタクシーの代行予約・問合せ	6	5	11	
32	引継	9	9	18	
33	キャリア支援学習室個別ボックス	0	12	12	
小計		664	885	1549	

※緑色の項目は JASSO の調査項目にある支援。白色は JASSO の調査項目にないセンター独自の支援によるもの。

## 4. 面談件数



R4 年度面談実数

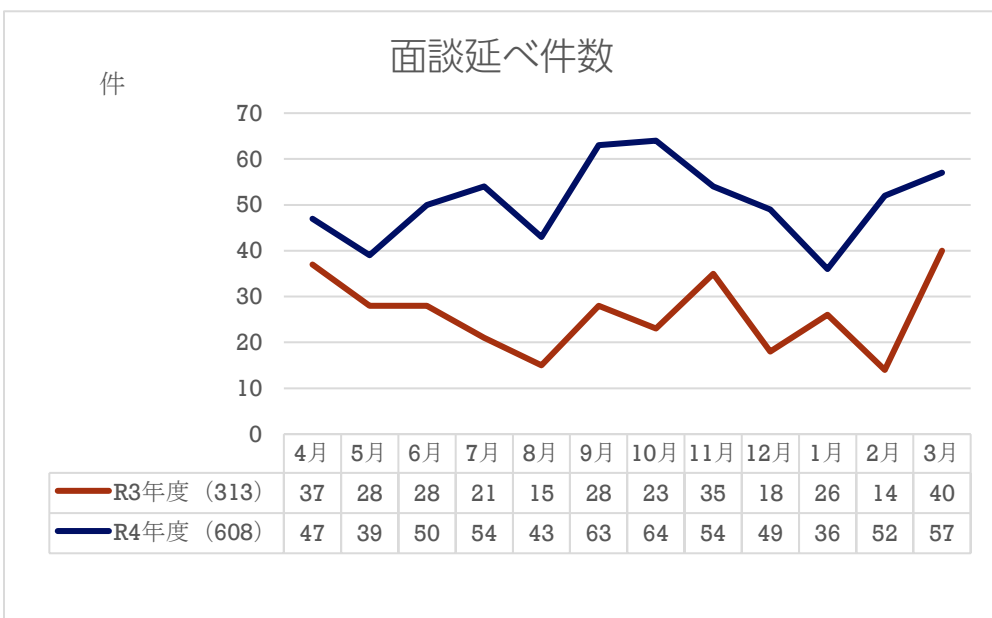
	人数
学部	84
修士	2
入学希望者	4
計	90

R4年度障害学生支援(面談)に関する連携実数

	人数
教職員	12
保護者	17
計	29

令和4年度の面談件数は、学部及び修士学生と入学希望学生の90名に対し、608件であった。令和3年度の1.9倍となっている。教職員や保護者との面談は29人実施し、学生支援のための連携も増加している。

## 5. 来室件数



R4 来室実数

	人数
学部	68
修士	1
入学希望者	0
計	69

R4年度障害学生支援(来室)に関する連携実数

	人数
教職員	14
保護者	5
計	19

令和4年度の来室件数は、1387件で、学生が69名、教職員及び保護者が19名であった。令和3年度の1.4倍となっている。遠隔授業も多かった関係で電話やメールによる支援が増加したにもかかわらず来室も増加していた。

## 6. 支援申請書件数

支援申請書提出者実数

	人数
学部	42
修士	0
入学希望者	-
計	42

R4年度の支援申請書提出は、312科目(申請人数42名)でした。R3年度の提出は329科目(申請人数44名)とほぼ同数となっています。

\* 支援申請書は根拠があり合理的配慮の提供について必要であると判断された申請書です。記載されている合理的配慮内容は提案ですので、講義内容によって変更や調整が必要だと思えます。変更や調整のご相談もぜひご連絡ください。



## 7. 令和4年度研修・講習会等の活動記録

年月日	研修・講習会
R4年4月6日	令和4年度鹿児島大学新任教員SD研修会講師 「鹿児島大学における障がいのある学生の支援について」
R4年5月6日~8日	日本学生相談学会第40回大会オンライン参加
R4年6月20日	令和4年度第1回障害学生支援連携協議会
R4年7月20日	令和4年度水産学部・農林水産学研究科FD講習会講師 「鹿児島大学における障害学生支援」
R4年8月26日	令和4年度九州地区国立大学法人障害者支援に関する大学間連携プログラム 「つまってもつまづかない世の中へ～正しく知ろう! 吃音のこと～」オンライン参加
R4年12月16日	令和4年度障害者支援に関する大学間連携情報交換会への参加
R4年12月19日	令和4年度医学部FD講習会「学生への相談対応に関する研修会(Web講演)」講師
R5年2月28日	令和4年度鹿屋体育大学「障がい学生支援に関する講演会」講師
R5年3月10日	令和4年度「大学におけるダイバーシティ推進に関するセミナー」開催

## 8. 支援機器

\* 支援説明やお試しもできますので、お気軽にお問い合わせください。

No.	支援機器	メーカー・機種・その他
1	点字対応テブラ	キングジム SD6700D
2	ICレコーダー	Panasonic RR-XS455-K
3	車いす	マツナガ 42幅 自走タイプ
4	ロジャーペン	補聴器を使用中的の方の受講やグループディスカッションに有用
5	ロジャータッチスクリーンマイク	補聴器を使用中的の方の受講やグループディスカッションに有用
6	ロジャーフォーカス	聴力に関係なく、大きな講義室の中で先生の声だけをよりクリアにきくことが可能
7	ストレッチマット・ポール	屋内外兼用
8	電子メモパッド	KING JIM boogie board BB-9
9	テント	North Eagle キャンピーフルクローズ
10	折りたたみベッド	F907-g1001-100
11	ウェブカメラ	C-615
12	書画カメラ	エプソン ELPDC21
13	ロジャー 線音源スピーカー	デジタルマスター7000
14	ロジャー パスアラウンドマイク	Roger タッチスクリーンマイクとの接続が可能なマイク。人の声の集音に優れている。(2台)
15	PC テイク用パソコン	Lenovo ThinkPad(3台)
16	iPad	Apple(2台)
17	スキャナー	富士通 ScanSnap SV600(1台) 新聞や雑誌の見開きなどの大きなサイズの原稿、とじられた本を切ったりせずに、最大A3サイズまで読み取れる。大切な原稿も紙面に触れずに読み取れるので、原稿を傷めない。
18	体圧分散クッション	EXGEL ミニプニ
19	ヤマハ ユニファイドコミュニケーションスピーカーフォン	1~4名程度の打合せに最適。バッテリー搭載でミーティングコーナー・自宅・外出先などあらゆる場所で利用可能。
20	ヤマハ ユニファイドコミュニケーションマイクスピーカー YVC-330	4~6名程度の小規模遠隔会議に最適な会議用スピーカーホン。騒がしいオープンスペース・静かな会議室それぞれの利用に適した2つのモードを搭載。
21	ワイヤレス充電デスクライト	タッチセンサー、5段階調色、5段階調光、タイマー機能、メモリー機能、ワイヤレス充電
22	1人用ワークブース	(株)オカムラ(テトラ1基) 最小1㎡のスペースに手軽に導入できる、吸音パネルに天板を組み合わせたセミクローズの1人用ワークブース。
23	フルクローズ型ワークブース	(株)オカムラ(テレキューブ2基) 床・壁・天井すべての面が囲われた個室空間。遮音、吸音、照明、換気の各機能が整っている。
24	LEDライト付きスタンドルーペ	倍率2倍、レンズ径100mm、LEDを搭載し、無段階調光ダイヤル式で最適な明るさを選べる。
25	ロジャー オン/ロジャー オン iN	話者の声を拾いワイヤレスで直接耳に送信する。

### 【編集後記】

令和5年度に入り修学支援室(障害学生支援センター)は設置10年目を迎えています。令和3年度、4年度と長期的に支援を行った学生さんが、次のステップに移行されました。卒業や修了、退学を含め次のステップに移行されたみなさんのこれからを応援しています。卒業後に近況報告や相談などで連絡をくださる方も増えています。「もっと在学中にできることはなかっただろうか？」これは近年スタッフ間でしばしば口にしてきた会話です。様々な案を考えていましたが、令和5年度より「障害のある学生のための就活スタート講座」を始めます。次のステージが良いものとなるように、在学中に準備ができることからという目標でスタートしますので、お気づきの点やご意見等ありましたらぜひご教示ください。修学支援室内では、雇用期間の関係でスタッフが変わると学生がちょっと落ち着かなくなる、支援体制の充実のためのスタッフが足りないなどたくさんの課題はありますが、学生の大学生活とこれからの役に立つことができるセンターを目指して、誰もが自分らしく学び合えるキャンパスを目指して、工夫とチャレンジを続けたいと思います。

